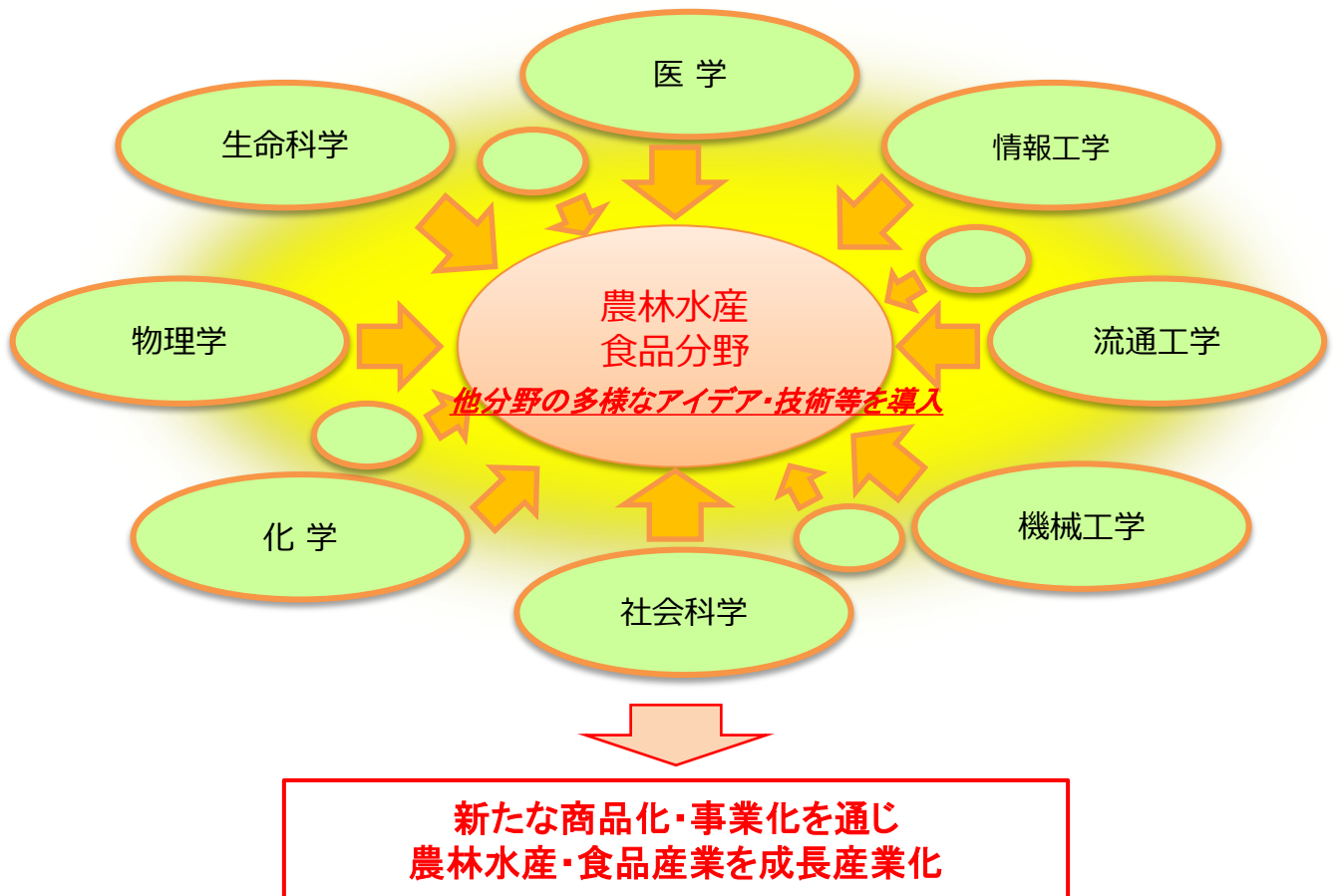


「知」の集積と活用 の 場

我が国の農林水産・食品産業の競争力を強化するためには、従来の常識を覆す革新的な商品・サービスを生み出すイノベーションの創出が必要です。

農林水産省では、平成28年4月、農林水産・食品分野に、他分野の多様な知識・技術等を導入する新たな産学官連携の仕組み「知」の集積と活用 の 場を創設し、オープンイノベーションを推進しています。

「知」の集積と活用 の 場の考え方



平成30年 1月
農林水産省 農林水産技術会議事務局
研究推進課 産学連携室

「知」の集積と活用の際の三層構造

① 産学官連携協議会

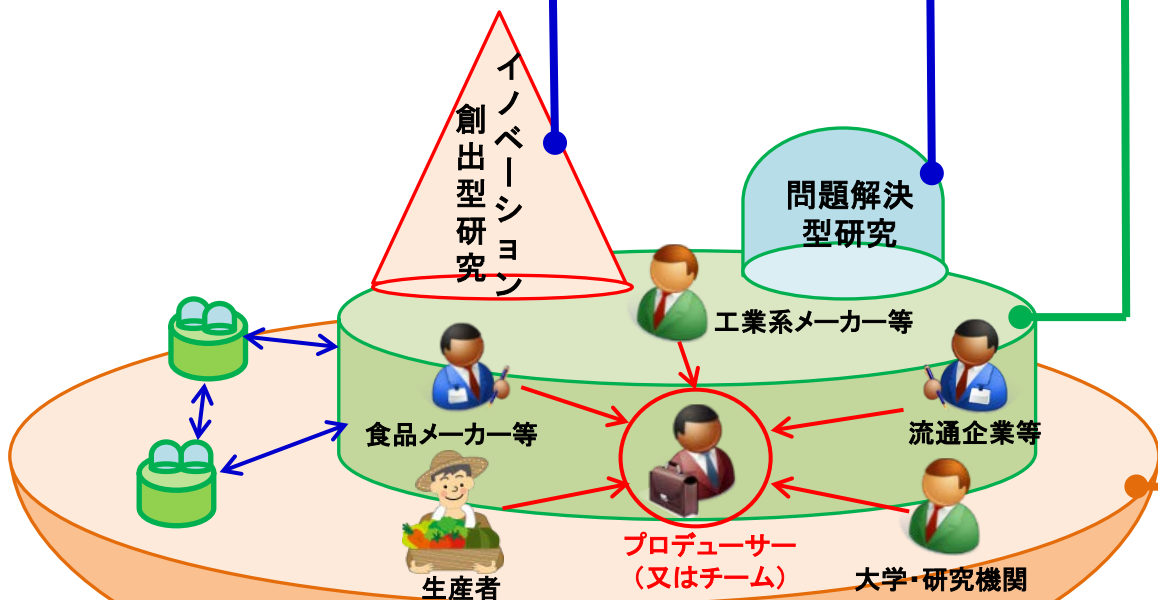
- 生産者、民間企業、大学、公的研究機関、地方自治体等多様な者が参画。
- 農林水産・食品分野と他分野の者が、セミナー・ワークショップなどによる会員間の交流を通じて情報交換や議論を行い、研究開発プラットフォームの形成を促進。

② 研究開発プラットフォーム

- 産学官連携協議会の会員が、一定のテーマのもとで新たな商品化・事業化に向けた共通の研究課題に取り組む。
- プロデューサーを中心として研究課題の具体化、知的財産戦略・ビジネスモデルの策定等を実施。

③ 研究コンソーシアム

- 研究開発プラットフォームの参画者が、研究開発プラットフォームの共通課題に対応した研究開発を実施。



農林水産・食品分野の知識・技術・人材

他分野の幅広い知識・技術・人材

生産者

民間企業

大学

研究機関

金融機関

自治体

民間団体

「知」の集積と活用の場の活動の流れ(イメージ)

① 産学官連携協議会

- 民間企業、大学、研究機関、生産者、金融機関等の多様な者が会員として入会。
- 様々なセミナー、ワークショップ等に参加し、研究開発プラットフォームを形成(又は入会)。



うまく活用できていない技術を活用できる場が見つかるかもしれない。



新規事業に取り組むためのパートナーが見つかるかもしれない。

入会

- セミナー、ワークショップでの情報交換、討論
- ポスターセッション、各種イベントでの新技術・取組の紹介
- 会員専用のメールマガジン、webサイトでの情報収集



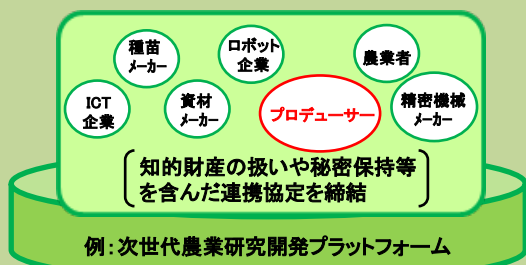
農林水産業の情報産業化と生産システムの革新領域に関するセミナー

現在、1900超の法人・個人が入会

一定のテーマについて研究開発プラットフォームを形成(又は入会)

② 研究開発プラットフォーム

- プロデューサーが中心となって、ビジネスモデルを作成、知的財産の扱いや秘密保持等を含んだ連携協定を締結、共通の研究課題を設定。



当面推進する6つの研究領域

- ・日本食・食産業のグローバル展開
 - ・健康長寿社会の実現に向けた健康増進産業の創出
 - ・農林水産業の情報産業化と生産システムの革新
 - ・新たな生物系素材産業の創出
 - ・次世代水産増養殖業の創出
 - ・世界の種苗産業における日本イニシアチブの実現
- その他将来性の高い領域についても推進

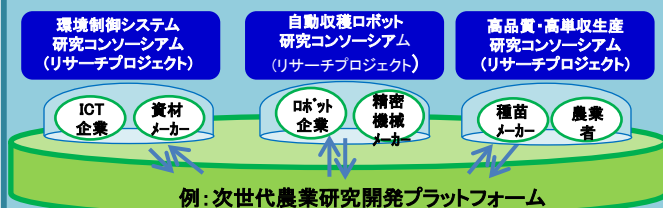
現在、65の研究開発プラットフォームが設立

研究コンソーシアムを形成

研究成果を還元

③ 研究コンソーシアム

- 研究開発プラットフォームで設定した共通研究課題に対応した研究開発を、産学官連携、異分野連携により実施。
- 研究成果は研究開発プラットフォームへ還元。



高生産性・自動収穫農業施設を開発

研究開発モデル事業を活用して取組んでいる研究課題の例(平成29年度採択課題名)

過冷却促進技術による農産物の革新的保存・流通技術の開発

低価格農業を実現する革新的生産プロセスの開発

高付加価値野菜品種ごとに適した栽培条件を作出できるAI-ロボット温室の開発

海鞘(ホヤ)プラズマローゲンの機能性食品への応用研究

大規模沖合養殖システム実用化研究

脳機能改善作用を有する機能性食品開発

農産物のグローバルコールドチェーン網を実現させる高鮮度保持システムの研究開発

現在、17の研究開発コンソーシアムが、「知」の集積と活用の場による研究開発モデル事業を活用して研究開発を実施中。

農林水産省における「知」の集積と活用の方の支援施策 (平成30年度概算決定*)

※ 予算成立までの過程で今後変更の可能性あります。

① 産学官連携協議会への支援

- ポスターセッションやセミナー・ワークショップ等の開催、webサイト等による情報発信や協議会全員からの各種相談対応など、産学官連携協議会の運営を行います。

② 研究開発プラットフォームへの支援

- プロデューサー(又はチーム)を中心とした、新産業につながる研究開発を実施するための戦略づくり等を支援します。(研究開発プラットフォーム運営等委託事業)

③ 研究コンソーシアムへの支援

- 基礎段階から実用化段階の提案公募型研究において、「知」の集積と活用の方による研究開発を重点的に推進します。(イノベーション創出強化研究推進事業)

※ 研究開発プラットフォーム及び研究コンソーシアムの支援先は、提案公募により選定します。

※ この他、①全国に配置したコーディネーターによる、農林水産・食品分野のニーズ・シーズのマッチング支援や研究資金紹介等、②アグリビジネス創出フェアでの「知」の集積と活用の方関係者の出展等について支援します。

お問い合わせ先

「知」の集積と活用の方 産学官連携協議会 事務局
(株式会社リベルタス・コンサルティング)
E-mail: maff-session@libertas.co.jp Tel: 03-3556-6360 Fax: 03-3511-2162

Webサイト(入会手続き等)

URL: <https://www.knowledge.maff.go.jp/>

(会員専用のwebサイトは別です)

農林水産省の担当

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課 産学連携室
Tel: 03-3502-5530 Fax: 03-3593-2209